

部 長

各事務局長

市 長

平成28年度予算編成方針について

我が国では、少子高齢化の進行に伴い、人口が減少する中、経済やコミュニティなど、地域社会への影響が懸念されている。

こうした中、国は昨年12月に、地方創生や人口減少の克服に取り組むため、今後5年間の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をまとめ、本市においても、地域の魅力と強みを活かした、十勝・帯広だからこそできる地方創生を目指し、総合戦略の策定を進めている。

今月初旬には、TPP（環太平洋パートナーシップ）協定交渉が関係国との間で大筋合意に至り、地域の基幹産業である農業分野をはじめ様々な分野において今後の地域への甚大な影響が懸念されている。このため、本市においてもTPP庁内対策会議を設置し、関係団体とも連携しながら、国などの情報収集と対応策の協議を行うこととしている。

こうした課題に的確に対応していくためには、これまで以上に、産業基盤や地域の雇用を持続的に生み出していく必要があることから、農林漁業、食、環境、エネルギーなど、地域の豊富な資源を活かした競争力の強化により、「フードバレーとかち」のさらなる推進を図っていくことが重要である。

平成28年度予算については、こうしたことを念頭におきながら、地域の課題をしっかりと把握したうえで、第六期総合計画の着実な推進はもとより、市民が安心して、未来に希望をもって暮らしていけるように、総力を挙げて取り組むため、3つの重点を設定する。

なお、各部においては、部長等がリーダーシップを発揮し、将来を見据えた事業の選択と集中を図りながら、職員一丸となって、予算を編成されたい。

記

1. 予算編成における重点

- (1) 持続可能な地域経済をつくる**
- (2) 未来を拓くひとをつくる**
- (3) 安心できるまちをつくる**